

製品区分		JIS A 9521 押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種bD (略号: XPS3bD)	
項目	単位	物性値	
密度	kg/m ³	25以上	
熱伝導率	W/(m・K)	0.022以下	
透湿係数 (厚さ25mm当り)	ng/(m ² ・s・Pa)	145以下	
圧縮強さ	N/cm ²	20以上	
曲げ強さ	N/cm ²	25以上	
燃焼性	—	3秒以内に炎が消えて、残じんがなく、かつ、燃焼限界指示線を超えて燃焼しない	
吸水量	g/100cm ³	0.01以下	
ホルムアルデヒド放散区分	—	F☆☆☆☆等級	
加熱変形温度 ^{※1}	℃	80	
線膨張率	/℃	7 × 10 ⁻⁵	
比熱	kJ/(kg・K)	1.1	
酸素指数 ^{※2}	—	26以上	

物性値は、JIS、ASTMあるいは自社試験法にもとづいた標準値です。

※1 加熱変形温度は短時間における加熱状態を想定した試験です。高温での使用に関しては弊社までお問い合わせください。

※2 酸素指数とは、材料を持続的に燃焼させるために必要な最低酸素濃度。26未満は消防法の取扱いにより指定可燃物となります。

省エネルギー基準^{※1}に基づく断熱厚み

■木造戸建て住宅(充填断熱工法:その他の床)

			スタイロエース™-II	スタイロフォーム™ EX	スタイロフォーム™ FG
熱伝導率 W/(m・K)			0.028	0.024	0.022
部位	地域 ^{※2}	熱抵抗 R(m ² ・K/W)	mm	mm	mm
床 (その他の部分)	1～3 地域	3.3	95	80	75
	4～7 地域	2.2	65	55	50

※1 建築物省エネルギー基準(断熱等性能等級4相当)および誘導基準(断熱等性能等級5相当)の「仕様基準:断熱材の熱抵抗の基準」

※2 建築物省エネルギー基準による地域区分

〈スタイロフォーム™の保管および取扱い(設計施工)上の注意〉

- スタイロフォーム™**は燃焼遅延剤を添加して、微小火源では着火しにくくしてありますが、燃える性質があります。
輸送、保管、施工にあたっては、直接火気に触れないようにご注意ください。
- スタイロフォーム™**は、発泡剤として可燃性ガスを含有しており、この可燃性ガスは保管中、施工中、施工後の環境下で緩やかに放出されます。
この可燃性ガスが滞留すると、製品そのものが火気に触れなくとも、当該滞留ガスが火気に触れることで、火災や爆発が発生する可能性があります。
そのため、**保管および取扱いにおいては、密閉空間を避け、また、施工中も施工後も、可燃性ガスが滞留しないよう通気や換気を行い、または、滞留ガスが火気に触れることがない設計施工方法にしてください(施工後の使用環境にも留意してください)**。密閉空間に製品を施工する場合には、**密閉空間に通ずる通気管や点検口等を設けないようにするか、設ける場合には通気管や点検口等の付近に火気を近づけることがないよう十分注意してください**。

〈その他の注意事項〉

- 1) フォームの屑が目に入った場合は、こすらずに流水で洗浄してください。
- 2) 熱線スライス等の煙の発生する作業を行う場合は、換気を十分に行ってください。
- 3) 廃棄の際には、法令に従って処理してください。燃やすと黒煙(スス)がでますのでご注意ください。
- 4) 鳥・鼠・昆虫等によって損害を受けることがありますが、栄養源や餌にはなりません。

*カタログの内容、製品の物性や規格は予告なしに変更されることがあります。

お問い合わせは

DUPONT デュポン・スタイロ株式会社

本社/〒100-6111 東京都千代田区永田町2丁目11番1号 山王パークタワー
お問い合わせ(全般) <https://www.dupontstyro.co.jp/inquiry.php>

<https://www.dupontstyro.co.jp/>



デュポン®、デュポンオーバルマーク、並びに™、®、及び®表示のあるすべての商標は、米国デュポン社の関連会社の商標又は登録商標です。